



梅雨時に似合う「梅雨色」色彩を作ってみました。霧雨に煙る雰囲気の後調整では出来ないレベルで再現しています。

facebook「オリジナルピクチャースタイル」で公開しています。

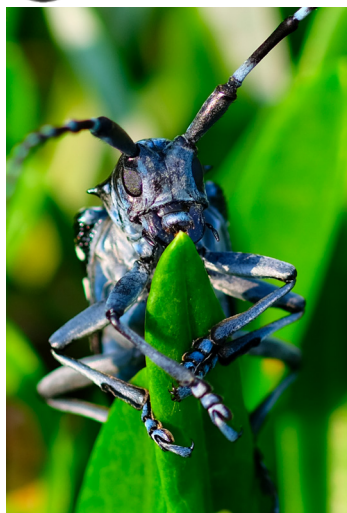
## Koyama



岡山県の非常事態宣言が明けた週末に、倉敷の街を訪れました。美観地区中心部の川沿いにはそれなりに大勢の観光客で賑わっていましたが、少し離れると以前の賑わいはありませんが、私の好きなゆっくりした雰囲気の通りです。

高校生だった50年前に、モノクロフィルムを詰めたカメラを抱え、歩きまわった道をなぞるように徘徊すれば、様々な思いが廻ります。同じ場所同じ撮影者ですが、注目する視線が異なります。街が変わらないことで自分の変化を強く意識したととても楽しい時間でした。

## Kusuda



今ではとんと、見かけなくなっていたカミキリムシ。子供の頃よく家の網戸にさばりついていて、網戸から引きはがすと「キィキィ」鳴いていた。懐かしがりながらシャッターを押した。あまり近づくと逃げてしまいそうなので、フレームの中では小さくしか捕らえられず、後からトリミングした。カメラの画質の進歩に、今更ながら驚かされる。

すごい!描写力!!

カメラの発色は気に入っていますか?

銀塩フィルムの時代には、色彩の選択はどのブランドを選択するかが、ほぼ唯一といって良い方法でした。フィルムメーカーは自社の特徴を前面に出したブランドを展開し、コダクローム、エクタクローム、ベルビア、アスティア等々、数え上げれば切りがありません。

デジタルカメラになって、「カメラ=フィルム」となったことによって選択肢は逆に狭まり、使用するカメラ内に備わった色彩を選択し、簡単な微調整をすることしか、「色彩の選択」は出来なくなりました。知らず知らずのうちに色彩への探究心は薄れていったように感じています。しかし唯一ユーザーが自由に色彩をコントロール出来る仕組みが、CANONのピクチャースタイルという仕組みで、ユーザーに無料で色彩編集用アプリを提供しています。詳細は省きますが弊社では、どのように撮ってもどうしても再現できない商品の色彩や、特定のイメージ再現に特化した色彩を作成し、仕事に利用しています。納品させて頂いたデータを無調整でWebや印刷に使用したとき、カメラ任せ以上に忠実であったり、より雰囲気のある仕上がりとなっています。クライアント毎に求められる色彩への対応もしています。

## Morita



弊社HPをご覧になり、お電話いただき撮影させていただきました。

「木工房べっしょ」さんの作品です。木の温かみややさしさを存分に生かした作品で、ご希望の方に販売するための撮影をご依頼いただいたものです。

大自然の循環の中で木の役割はとても大きく、山に生えているときには酸素を光合成し、水を浄化し、伐採されて家になったり、こうして家

具になったり、漁具や船になり、マキとして燃料になる。人が生きるためにはなくてはならないものだと思います。その役割の一部に関わらせてもらったことに幸せを感じました。自然な質感や色・形が表現されるようにこころをこめて撮影させていただきました。

## Mizuko



ForetFarm様からチラシに使用するイメージ写真を撮影してほしいとご依頼をいただきました。農業・化学肥料を使わず生産したオーガニック西洋野菜の販売と加工を行っている倉敷市福江にある

会社です。今回撮影した商品は大豆を使用したクッキーで、クッキーを一つ一つを捉えるのではなく全体を構成して撮影する必要があり、それらの並べ方やおぼんの配置など、どうしたものかと悩ましいものでした。しかし全体のバランスを整え、作画的にならないように崩す構成はよい経験になりました。